

「課程博士」の予備調査手続きについて

(九州大学大学院医学系学府)

1. 提出資格等について

- (1) 博士課程に3年以上在学し、所定の科目について所定の単位を修得した者。ただし、優れた研究業績を上げたと認められた者は、入学後2年6ヶ月を過ぎれば予備調査の申請をすることができる。
- (2) 博士論文は在学期間中に提出するものとする。ただし、所定の年限在学し所定の単位を修得のうえ退学した者(単位修得退学者)は、論文提出、審査及び最終試験合格を退学後3年以内に完了することにより課程博士となることができる。

2. 提出書類

	書類名等	部数	留意事項
1	学位論文予備調査願	1	氏名は戸籍どおりに正確に記入する
2	主論文	3	原則英文の別刷 (アクセプトの段階で審査を受ける場合、原稿のコピー及びアクセプトの手紙のコピーを提出する。) ※テーシス形式論文の場合は、別紙「テーシス形式論文の作成について」を参照
3	参考論文(ある場合)	3	英文で作成された原著論文で、申請者の著者名が3位以内のものに限る (○編1冊とし、表紙(目次)をつける)
4	論文調書	4	4部全てに押印
5	履歴書	2	2部全てに押印(外国人の場合はサイン可)

※共著論文を主論文とする場合に必要なもの

6	承諾書	1	各共著者の自署・押印
7	誓約書	1	各共著者の自署・押印
8	和文の論文形式のレポート	3	自著単独名の原稿。表紙・頁をつけ、少なくとも主論文の図表を含めて全内容を記載する。 (外国人の場合は、不要)
9	共著者担当表	1	共著者が10人を越える場合に作成。各共著者の自署・押印が必要
10	理由書	2	共著論文の著者に指導教員の氏名が記載されていない場合のみ。書式は任意。指導教員の押印必要。

※指導教員が必要と指導した場合 (がん専門医師養成コース選択者は提出が必須です。他のコース選択者は任意となりますので、指導教員の指導に従ってください。)

11	ポートフォリオ目録	3	指導教員の押印
----	-----------	---	---------

※本学府以外に研究歴がある場合に必要なもの

12	研究歴を証明する書類	1	在職証明書等を提出
----	------------	---	-----------

※標準修業年限より早期に修了する場合に必要なもの

13	上申書	1	指導教員作成・押印
----	-----	---	-----------

3. 論文内容の調査及び審査について

医学・医科学専攻会議（以下「教授会」）において予備調査委員を選定、その後、公開の論文調査会を開催し、学位申請論文の内容及び学力等を調査する。

なお、論文調査会終了後は、1週間以内に本審査申請書類を大学院係に提出する。

4. 申請書類の作成にあたって

◆学位申請論文（主論文）は、以下のいずれかとする。

- (1) 英文で作成された原著論文であり、査読のある権威ある学術誌に掲載又は受理されたもの
- (2) 上記(1)を含めたテーシス形式論文であるもの（テーシス形式論文の体裁は別添参照）

◆共著論文について

- (1) 共著論文も学位論文として受理することができる。ただし、すでに欧文で印刷公表（課程博士はアクセプトの段階で審査を受けることができる）されており、その学問的価値がとくに高いものに限る。
- (2) 共著論文を学位論文として申請できる者は、共同研究において主な役割をつとめ、その成果が共著論文の核心をなしていることが明確であり、かつ、その者が共著者名の第1位にランクされており、申請に関して他の共著者の承諾を得ているものに限る。
- (3) 申請者は論文形式のレポート（和文）を別に作成しなければならない。
ただし、申請者が外国人の場合は必要としない。
- (4) 学位論文として受理する共著論文は、学位申請のための主論文として他に使用されない旨の誓約がなされていなければならない。
- (5) 予備調査を申請する場合は、次の書類を提出しなければならない。
 - 1) 主論文 欧文の別刷 3部
 - 2) 自著単独名の原稿（和文レポート） 3部（ただし、外国人の場合は不要）
 - 3) 承諾書 1部
 - 4) 誓約書 1部
- (6) 主論文がイコール・コントリビューションである場合、イコール・コントリビューターは筆頭著者を含め2名までとする。
- (7) その他必要な事項については、教授会で決定する。

◆論文調書について

この調書は、論文調査の重要な書類であるとともに、大学院委員会において資料として配付するため、記入に際しては特に注意をはらってください。

- (1) 申請者氏名の欄 楷書で記入のこと
- (2) 主論文題名の欄 別刷のとおり記載すること（欧文は欧文のまま）
※主論文の題名と同じ字体（大文字・小文字・斜体）にすること。
- (3) 指導教員欄 学位審査における指導教授は所属分野の教授が行うものとするが、退職・異動等で教授不在になる分野においては、論文申請責任教授として不在分野の部門長又は講座責任者等が行う。（※4部とも押印）申請者の希望があれば、実際に指導した前教授名を併記することができる。なお、その場合、前教授の押印は不要とする。
- (4) 主論文の要旨 予備調査委員選定の際に特に重要な項目です。
指導教員に目を通していただき、字句の誤り等が無いよう最大限の注意をお願いします。

◆履歴書について

記入例を参照のうえ、若年順に記入してください。

(1) 学歴欄の記入事項

- 1) 大学学部・学科の卒業年月日
- 2) 医師国家試験合格年月日（登録日ではありません）
別紙にてご確認ください。
不明なときは医学大学院係にお問い合わせください。
- 3) 大学院入学年月日・退学年月日（該当者）

※) 研究生・専修生の履歴は学歴には記載しない（研究歴にのみ記入）

(2) 職歴

- 1) 給与を受けた履歴を記入します。
- 2) 所属・職名及び採用・退職年月日は正確に記入してください。
- 3) 九州大学病院研修医の履歴は、次のように記入します。
(例) 平成16年5月 1日 九州大学病院医員（研修医） 採用
平成17年4月30日 同上退職

(3) 研究歴

- 1) 医員及び医員（研修医）の期間、研究生及び専修生の期間など研究歴として認められる研究施設での研究（在職）期間及び研究内容を記入してください。
- 2) 研究歴として認められるもの
☆大学専任職員として研究に従事した期間、全日制の研究生・専修生として在学した期間、大学院在学期間
☆文部科学省管轄の研究機関・国立大学附置研究所・厚生労働省附属機関研究所・特定の厚生労働省附属センター・外国の研究機関で研究に従事した期間
☆厚生労働大臣の指定する臨床研修指定病院で専任職員として研究に従事した期間
☆その他、不明な場合は大学院係にお問い合わせください。
- 3) 研究歴として記載された履歴は、研究歴の証明として在職証明書や在学証明書が必要です。九州大学に勤務されていた方は、最終勤務部局の人事担当係（九州大学病院の場合は病院総務課人事係）で在職証明書や人事記録の（写）等の交付を受けてください。九州大学以外に研究歴があれば、その施設から在職証明書等の交付を受けてください。
九州大学医学部（医学系学府）の履歴（研究生・専修生・大学院生）証明書は不要です。

5. 問い合わせ先・提出期限

九州大学医系学部等学務課大学院係
〒812-8582 福岡市東区馬出3丁目1-1
TEL 092-642-6026 FAX 092-642-6189

提出期限：教授会（通常、第2水曜日）の15日前。

※ただし、3月は第1水曜日が教授会となります。

平成 年 月 日

九州大学大学院医学系学府長 殿

・平成20年度以降入学者は医学専攻
・平成19年度以前入学者は自身の該当専攻名を記入すること
※所属教室名ではないので、注意すること

医学系学府 ● ● 専攻
平成●●年 入学

氏名 九 大 太 郎



外国人の場合はサインで可

学 位 論 文 予 備 調 査 願

このたび博士（医学）の学位を受けたいので、九州大学大学院医学系学府学位申請論文取扱内規第3条により、下記のとおり関係書類を添え、学位論文を提出しますからご調査願います。

記

編数は提出に合わせて記入。 提出がない場合は取消線

- 1. 主論文（原稿） 3部
- 2. 参考論文 ●編1冊 3部
- 3. 論文調書 4部
- 4. 履歴書 2部

~~2. 参考論文 編1冊 3部~~

学 位 論 文 調 書
(課 程 博 士)

1. 申請者氏名

大学院医学系学府 ● ● 専攻 平成●●年度入学

氏 名 : 九 大 太 郎

2. 主論文題名

別刷のタイトルどおりに記入

3. 指導教員名及び認印

●● 分野 教授 ○○ ○○ 印



指導教員が在職していない場合は、部門内の教授に依頼する。(指導教員名の併記も可, 押印不要)

●● 分野 教授 ○○ ○○ 印




元●● 分野 教授 ○○ ○○ 印

4. 主論文の主旨

○○○○-----

履 歴 書 (在学者の場合)

		区分	甲 乙
(ふりがな) 氏 名	きゅうだい たろう 九 大 太 郎 (※外国人の場合は下記例1のとおり)		男
生年月日	※和暦及び西暦を記入 → 昭和56 (1981) 年 4 月 1 日生 (外国人の場合は西暦のみで可)		女
本 籍 (都道府県)	福岡県 (※外国人の場合は国名を記載 (国名一覧表参照))		
現住所	〒812-8582 福岡市東区馬出3丁目1番1号 (※学位授与決定通知書を送付しますので正確な住所を記入してください。)		
学 歴	<p>平成18年 3月27日 九州大学医学部医学科卒業</p> <p>平成18年 3月29日 第100回医師国家試験合格</p> <p>平成24年 4月 1日 九州大学大学院医学系学府医学専攻博士課程入学</p> <p>現在に至る</p> <p style="text-align: right;">※大学卒業から記載して下さい。</p> <p style="text-align: center;">↑</p> <p>・平成20年度以降入学者は医学専攻、平成19年度以前入学者は自身の該当専攻名を記入。 ※所属教室名ではないので、注意すること</p> <p style="text-align: right;">※大学卒業以降の記載は、「修士入学」「修士修了」と記載して下さい。</p>		
職 歴	<p>平成18年 4月 1日 九州大学病院医員 (研修医) 採用</p> <p>平成20年 3月31日 同上退職</p> <p>平成20年 4月 1日 ○○病院医員 採用</p> <p>平成22年 3月31日 同上退職</p> <p>平成22年 4月 1日 九州大学病院医員 採用</p> <p>平成24年 3月31日 同上退職</p> <p>平成25年 4月 1日 日本学術振興会特別研究員採用</p> <p>現在に至る</p> <p style="text-align: right;">※九州大学病院の名称は、平成15年9月以前は、「九州大学医学部附属病院」と記載して下さい。</p>		
<p>※但し、同病院、同身分での採用で、1年ごとの更新採用の場合は、まとめて記載し、(一年ごとに更新)と記載して下さい。</p> <p>※日本学術振興会特別研究員の期間は、職歴に記載し、研究歴では大学院在籍の形で記載して下さい。</p>			
研究歴	<p>平成24年 4月 1日 九州大学大学院医学系学府において</p> <p>現在まで ○○○○について研究</p>		
<p>上記のとおり相違ありません。</p> <p style="text-align: center;">平成〇〇年〇月〇日</p> <p style="text-align: center;">九 大 太 郎 印 </p>			

(例1) モハメッド アブドゥル マジード
Mahammed Abdul Mazeed

(例2) ホアンツ ウエイ
黄 志 偉
Hyang Chin Wei

履 歴 書 (単位修得退学者の場合)

		区分	甲 乙
(ふりがな) 氏 名	きゅうだい たろう 九 大 太 郎 (※外国人の場合は下記例のとおり)	男	
生年月日	※和暦及び西暦を記入 → 昭和45 (1970) 年 4月 1日生 (外国人の場合は西暦のみで可)	女	
本 籍 (都道府県)	福岡県 (※外国人の場合は国名を記載 (国名一覧表参照))		
現住所	〒812-8582 福岡市東区馬出3丁目1番1号 (※学位授与決定通知書を送付しますので正確な住所を記入してください。)		
学 歴	<p>平成15年 3月25日 九州大学医学部医学科卒業 ※大学卒業から記載して下さい。</p> <p>平成15年 4月24日 第97回医師国家試験合格</p> <p>平成22年 4月 1日 九州大学大学院医学系学府医学専攻博士課程入学</p> <p>平成26年 3月31日 同上単位修得退学 ※中途退学の場合は、「退学」と記載して下さい。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <p>・平成20年度以降入学者は医学専攻、平成19年度以前入学者は自身の該当専攻名を記入。 ※所属教室名ではないので、注意すること</p> </div>		
職 歴	<p>平成15年 5月 1日 九州大学医学部附属病院医員 (研修医) 採用</p> <p>平成17年 4月30日 同上退職</p> <p>平成17年 5月 1日 ○○病院医員 採用 ※九州大学医学部附属病院の名称は、平成15年10月以降は、「九州大学病院」と記載して下さい。</p> <p>平成18年 3月31日 同上退職</p> <p>平成18年 4月 1日 九州大学病院医員 採用</p> <p>平成22年 3月31日 同上退職</p> <p>平成26年 4月 1日 ○○病院○○科医師 採用</p> <p>現在に至る</p> <p>※但し、同病院、同身分での採用で、1年ごとの更新採用の場合は、まとめて記載し、(一年ごとに更新)と記載して頂くようお願い致します。</p>		
研究歴	<p>平成22年 4月 1日 九州大学大学院医学系学府において</p> <p>平成26年 3月31日 ○○○○について研究</p> <p>平成26年 4月 1日 ○○病院において</p> <p>現在まで ○○○○について研究</p> <p>上記のとおり相違ありません。</p> <p style="text-align: center;">平成○○年○○月○○日 九 大 太 郎 印 九 大</p>		

(例1) モハメッド アブドゥル マジード
Mahammed Abdul Mazeed

(例2) ホァンツ ウエイ
黄 志 偉
Hyang Chin Wei

承 諾 書

私どもの次の共著論文を **九 大 太 郎** が学位論文として提出することを承諾します。

1. 題 名 :

別刷のタイトルどおりに記入

2. 掲載誌 : ○○○○○○○○○○○○○○○誌 第○○巻・第○○号
P P○○○○-○○○○ (平成○○年○○月)

平成○○年○○月○○日

※共著者多数により、様式に全員分の署名が入りきれない場合や、共著者が海外等の遠方に居住しており、一枚のみの回覧では署名に時間がかかりすぎる場合については、用紙が複数枚にわたっても構いません。

共 著 者 氏 名

所 属 ・ 身 分

○ ○ ○ ○	印	○○大学大学院○○研究科○○分野・教授
○ ○ ○ ○	印	国立○○研究所○○部門・主任研究員
○ ○ ○ ○	印	○○病院○○科・医員
○ ○ ○ ○	印	○○大学大学院○○学府○○分野・大学院生
○ ○ ○ ○	印	○○大学大学院○○研究院○○分野・教授
	印	
	印	
	印	
	印	
	印	

注) 必ず各自が署名・押印すること (ワープロ不可)

国 名 一 覧

国 名	国 名	国 名
アルバニア Albania	ホンジュラス Honduras	フィリピン Philippines
アルジェリア Algeria	ハンガリー Hungary	ポーランド Poland
アルゼンチン Argentina	アイスランド Iceland	ポルトガル Portugal
アルメニア Armenia	インド India	韓国 Korea
オーストラリア Australia	インドネシア Indonesia	ルーマニア Romania
オーストリア Austria	イラン Iran	ロシア Russia
バングラデシュ Bangladesh	イラク Iraq	サモア Samoa
ベルギー Belgium	アイルランド Ireland	サウジアラビア Saudi Arabia
ブータン Bhutan	イスラエル Israel	セネガル Senegal
ボリビア Bolivia	イタリア Italy	シンガポール Singapore
ブラジル Brazil	ジャマイカ Jamaica	スロバキア Slovakia
ブルガリア Bulgaria	ヨルダン Jordan	南アフリカ South Africa
カンボジア Cambodia	カザフスタン Kazakhstan	スペイン Spain
カメルーン Cameroon	ケニア Kenya	スリランカ Sri Lanka
カナダ Canada	クウェート Kuwait	スーダン Sudan
チリ Chile	ラオス人民民主共和国	スウェーデン Sweden
中国 China	lao People's Democratic Re public	スイス Switzerland
中国(台湾) China(Taiwan)	レバノン Lebanon	シリア Syria
コロンビア Colombia	リベリア Liberia	タンザニア Tanzania
コンゴ Congo	リビア Libyan Arab Jama hiriya	タイ Thailand
クロアチア Croatia	リヒテンシュタイン Liechtenstein	トンガ Tonga
キューバ Cuba	リトアニア Lithuania	チュニジア Tunisia
チェコ Czech Republic	ルクセンブルグ Luxembourg	トルコ Turkey
朝鮮 Korea	マレーシア Malaysia	ウガンダ Uganda
韓国 Korea	モーリタニア Mauritania	ウクライナ Ukraine
デンマーク Denmark	メキシコ Mexico	アラブ首長国連邦
ドミニカ Dominica	モナコ Monaco	United Arab Emirates
エクアドル Ecuador	モンゴル Mongolia	イギリス United Kingdom
エジプト Egypt	モロッコ Morocco	of Great Britain and North ern Ireland
エルサルバドル El Salvador	ミャンマー Myanmar	アメリカ合衆国
エチオピア Ethiopia	ネパール Nepal	United States of America
フィジー Fiji	オランダ Netherlands	ウルグアイ Uruguay
フィンランド Finland	ニュージーランド New Zealand	ウズベキスタン Uzbekistan
フランス France	ニカラグア Nicaragua	ベネズエラ Venezuela
ドイツ Germany	ナイジェリア Nigeria	ベトナム Viet Nam
ガーナ Ghana	ノルウェー Norway	イエメン Yemen
ギリシャ Greece	パレスチナ Palestine	ユーゴスラビア Yugoslavia
グアテマラ Guatemala	パキスタン Pakistan	ザイール Zaire
ギニア Guinea	パナマ Panama	ザンビア Zambia
ガイアナ Guyana	パラグアイ Paraguay	ジンバブエ Zimbabwe
ハイチ Haiti	ペルー Peru	

医師国家試験合格発表日一覧

回数	合格年月日	回数	合格年月日	回数	合格年月日
1	22. 7. 31	41	41. 11. 12	81	62. 5. 7
2	22. 7. 31	42	42. 4. 11	82	63. 5. 6
3	22. 12. 15	43	42. 10. 17	83	元. 5. 10
4	23. 6. 23	44	43. 4. 27	84	2. 5. 9
5	23. 12. 25	45	43. 7. 25	85	3. 5. 7
6	24. 7. 12	46	43. 11. 21	86	4. 5. 6
7	24. 12. 26	47	44. 5. 6	87	5. 4. 16
8	25. 7. 27	48	44. 10. 28	88	6. 4. 22
9	25. 12. 14	49	45. 5. 15	89	7. 4. 21
10	26. 7. 31	50	45. 10. 29	90	8. 4. 19
11	26. 12. 5	51	46. 5. 20	91	9. 4. 18
12	27. 7. 16	52	46. 10. 30	92	10. 4. 22
13	27. 12. 19	53	47. 5. 2	93	11. 4. 22
14	28. 6. 20	54	47. 10. 18	94	12. 4. 20
15	28. 12. 17	55	48. 4. 25	95	13. 4. 26
16	29. 6. 23	56	48. 10. 23	96	14. 4. 25
17	29. 12. 18	57	49. 5. 11	97	15. 4. 24
18	30. 6. 23	58	49. 10. 31	98	16. 4. 22
19	30. 12. 7	59	50. 5. 23	99	17. 3. 30
20	31. 6. 19	60	50. 10. 30	100	18. 3. 29
21	31. 12. 5	61	51. 5. 7	101	19. 3. 29
22	32. 6. 20	62	51. 10. 29	102	20. 3. 28
23	32. 11. 30	63	52. 4. 27	103	21. 3. 27
24	33. 6. 2	64	52. 10. 27	104	22. 3. 29
25		65	53. 5. 2	105	23. 3. 18
26	34. 6. 2	66	53. 10. 25	106	24. 3. 19
27	34. 12. 1	67	54. 5. 1	107	25. 3. 19
28		68	54. 10. 22	108	26. 3. 18
29	35. 12. 7	69	55. 5. 1	109	27. 3. 18
30	36. 5. 15	70	55. 10. 23	110	
31	36. 11. 29	71	56. 5. 1	111	
32	37. 4. 27	72	56. 10. 31	112	
33	37. 11. 13	73	57. 5. 8	113	
34	38. 4. 6	74	57. 10. 30	114	
35	38. 11. 13	75	58. 5. 7	115	
36	39. 4. 9	76	58. 10. 29	116	
37	39. 10. 13	77	59. 5. 10	117	
38	40. 4. 2	78	59. 10. 31	118	
39	40. 11. 11	79	60. 5. 8	119	
40	41. 4. 21	80	61. 5. 7	120	

九州大学卒業年月日一覽

昭和23年(1948)3月27日	昭和48年(1973)3月27日	平成10年(1998)3月27日
昭和24年(1949)3月26日	昭和49年(1974)3月27日	平成11年(1999)3月25日
昭和25年(1950)3月25日	昭和50年(1975)3月27日	平成12年(2000)3月27日
昭和26年(1951)3月27日	昭和51年(1976)3月27日	平成13年(2001)3月26日
昭和27年(1952)3月29日	昭和52年(1977)3月26日	平成14年(2002)3月25日
昭和28年(1953)3月28日	昭和53年(1978)3月27日	平成15年(2003)3月25日
昭和29年(1954)3月27日	昭和54年(1979)3月27日	平成16年(2004)3月25日
昭和30年(1955)3月26日	昭和55年(1980)3月27日	平成17年(2005)3月25日
昭和31年(1956)3月27日	昭和56年(1981)3月27日	平成18年(2006)3月27日
昭和32年(1957)3月27日	昭和57年(1982)3月27日	平成19年(2007)3月26日
昭和33年(1958)3月26日	昭和58年(1983)3月26日	平成20年(2008)3月25日
昭和34年(1959)3月26日	昭和59年(1984)3月27日	平成21年(2009)3月24日
昭和35年(1960)3月26日	昭和60年(1985)3月27日	平成22年(2010)3月25日
昭和36年(1961)3月27日	昭和61年(1986)3月27日	平成23年(2011)3月24日 (医学部医学科→3月10日)
昭和37年(1962)3月27日	昭和62年(1987)3月27日	平成24年(2012)3月27日 (医学部医学科→3月5日)
昭和38年(1963)3月27日	昭和63年(1988)3月26日	平成25年(2013)3月26日 (医学部医学科→3月5日)
昭和39年(1964)3月27日	平成 元年(1989)3月27日	平成26年(2014)3月25日 (医学部医学科→3月5日)
昭和40年(1965)3月27日	平成 2年(1990)3月27日	平成27年(2015)3月25日 (医学部医学科→3月5日)
昭和41年(1966)3月26日	平成 3年(1991)3月27日	
昭和42年(1967)3月27日	平成 4年(1992)3月27日	
昭和43年(1968)3月27日	平成 5年(1993)3月26日	
昭和44年(1969)3月27日	平成 6年(1994)3月25日	
昭和45年(1970)3月27日	平成 7年(1995)3月27日	
昭和46年(1971)3月27日	平成 8年(1996)3月27日	
昭和47年(1972)3月27日	平成 9年(1997)3月27日	

【テーシス形式論文の作成について】

医学系学府

「博士（医学）」の学位申請（課程博士及び論文博士）において、学位申請論文は以下のとおりとする。（「学位申請論文（医学博士）取扱いに関する申合せ」抜粋）

<学位申請論文について>

学位申請論文（主論文）は以下のいずれかに該当しなければならない。

- (1) 英文で作成された原著論文であり、査読のある権威ある学術誌に掲載又は受理されたもの
- (2) 上記(1)を含めたテーシス形式論文であるもの（テーシス形式論文の体裁について下記参照）

記

テーシス形式論文を作成する者は、以下の事項に留意し、指導教員の指導のもと作成することとする。

1. テーシス形式論文は、既に英文で作成され、権威ある学術誌に掲載又は受理された論文（以下「対象論文」という）1編以上をもとに新たに執筆されたものとする。
なお、使用言語は日本語または英語とし、単著（単名）で作成しなければならない。
2. 対象論文について
対象論文が共著論文の場合、「学位申請論文（博士（医学）」の取扱いに関する申合せ」に定める申請書類を提出しなければならない。
3. 体裁について
 - (1) 用紙はA4サイズまたはB5サイズとし、ワープロ又はタイプ印刷されたものを製本し、十分に体裁を整える。
 - (2) 論文は原則として、タイトルページ・目次・要旨・緒言・材料と方法・結果・考察・（謝辞）・引用文献・図表及び説明、（付録）などの項目から成るものとする。
 - (3) 対象論文については、表紙（論文タイトル・雑誌名・巻号・ページ・著者名）を作成し、次ページから記載する。
 - (4) 目次にはページを明示する。
 - (5) 論文中の図表等で著作権が出版社等にあるものは、例えそれが自身のものであっても脚注ないし引用文献によりその出典を明示する。
 - (6) 原則として表題には略号を使用しない。略号は最初に用いる時に正式名称を示す。要旨の項でも略号の使用は極力避けることとし、もし、使用した場合はここで正式名称を示すと共に他の項において再度これを示さなければならない。

[参考：論文執筆に際し留意すべき事項]

① 表題について

- ・表題は論文の内容を的確に表現しているか、また簡潔であるか

② 要旨について

- ・要旨は研究の目的、方法、結果、結論などを簡潔に述べているか

③ 緒言について

- ・研究の背景と目的との相関が論理的に述べられているか
- ・目的は明確かつ具体的であるか

④ 材料と方法について

- ・材料と方法の選択、実験計画などは的確であるか

⑤ 結果について

- ・結果に不備、矛盾はないか、その表現は簡潔かつ正確であるか
- ・新知見が含まれているか

⑥ 考察について

- ・論旨は明確かつ矛盾はないか、議論に過不足はないか
- ・研究目的との整合性はあるか、また得られた知見に立脚した議論であるか
- ・従来知見との関連が明らかにされているか
- ・得られた成果の学術上ないし臨床上の評価について考察されているか

⑦ 引用文献について

- ・文献の引用は適切であるか
- ・引用箇所や原著との対応が容易であるか

⑧ 図表について

- ・図表は所見を的確に表現するものであるか、その説明は的確であるか
- ・写真には倍率(必要に応じてスケールも)が示されているか、レタリング等の配置は的確であるか、模式図などによる補足説明の必要はないか

4. 予備調査申請における提出について

予備調査申請書類提出の際は、原稿の形式でよい。また、予備調査委員より訂正の指示があれば、これに従うものとする。

5. 本審査申請における提出について

本審査申請書類提出の際は、製本されたテーシス形式論文を5部と対象論文(コピー可)を60部とする。